

事業 088	事務事業名	健康手帳交付				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成 年度		~	平成 年度		年度		
根拠法令・要綱等		増進健康法第17条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民で各種健康診査、健康相談、健康教育、訪問指導を受けた者						
	意図 (どのような状態に)	健康診査の記録、その他の健康の保持増進のため必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療の確保に資する。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	健康診査、健康教育、健康相談時に交付 健康診査受託指定医療機関での交付						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健康手帳交付人数(35歳から39歳)	人	144	190	185	97.4	200	200	
	健康手帳交付人数(40歳から74歳)	人	1,665	1800	1,758	97.7	1800	1800	
	健康手帳交付人数(75歳以上)	人	308	300	297	99.0	300	300	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	集団検診会場での交付	箇所	244	246	248	100.8	253
	医療機関検診受託医療機関での交付	箇所	42	38	38	100.0	39

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	359 千円	260 千円	27.6	270 千円
	人件費	207 千円	204 千円	1.4	204 千円	
	退職手当引当金相当額	30 千円	30 千円	0.0	30 千円	
	事業コスト計	596 千円	494 千円	17.1	504 千円	
財源内訳	国県支出金	131 千円	137 千円	4.6	173 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	465 千円	357 千円	23.2	331 千円	
	当該事務従事職員数	0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	市民自らの健康管理と適切な医療の確保をするためにも必要である。
有効性	4	自分の健康は自分で守るためにも有効である。
達成度	4	35歳から健康手帳を交付し、若い年代から自分の健康に関心を持ち、健康管理の必要性について啓発し、生活習慣病の予防に努めている。
効率性	4	機会あるごとに健康手帳を交付している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	健康手帳の有効な活用方法について説明し、自らの健康の保持増進に努めてもらう。

事業 089	事務事業名	健康教育				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		健康増進法第3条、第4条、							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民
	意図 (どのような状態に)	健康に関する知識や情報を提供することにより、「健康寿命の延伸」「早世の死亡の減少」を図り、みんなが明るく元気な生活ができるよう支援する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	一般健康教育:一般住民を対象とした講演会等 病態別健康教育:要指導者を対象とした健康教室や講演会

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	一般健康教育参加人数	人	5674	5700	5634	98.8	5800	6000	
	病態別健康教育参加人数	人	539	800	1083	135.4	1000	1000	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	一般健康教育回数	回	252	250	194	77.6	250
	病態別健康教育回数	回	20	25	29	116.0	30

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	774千円	799千円	3.2	805千円
財源内訳	人件費	5,175千円	5,100千円	1.4	5,100千円	
	退職手当引当金相当額	750千円	750千円	0.0	750千円	
	事業コスト計	6,699千円	6,649千円	0.7	6,655千円	
	国県支出金	510千円	504千円	1.2	504千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	6,189千円	6,145千円	0.7	6,151千円	
当該事務従事職員数		0.75人	0.75人	0.0	0.75人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	生活習慣病の発生を予防す「一次予防」に重点を置いた対策を推進するためには、健康に対する価値観が多様化している実情に即した健康教育が必要である。
有効性	4	市民の健康への関心は特定健診・特定保健指導の導入により関心は高まってきており、健康増進や疾病の予防、介護予防に繋がっている。
達成度	3	多くの機会を捉えて、市民に生活習慣病の予防や介護予防の普及啓発や生活習慣への行動変容の意識付けができた。
効率性	4	生活習慣病対策にメタボリックシンドロームの概念を導入し広く市民に啓発普及した。又、特定保健指導対象外の人で生活習慣改善必要者を対象とした教室も開催した。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	健康教育の内容のみに努めるとともに充実や、生活習慣病対策の対策を検討し実践していく。

事業 090	事務事業名	健康相談				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		健康増進法第3条、第4条、第17条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民						
	意図 (どのような状態に)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導および助言を行うことにより、相談者自身が健康により生活習慣を理解し、健康な生活ができることをめざす。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	総合健康相談:保健センター窓口や電話相談、各地区公民館での一般相談会等 病態別健康相談:要指導者を対象とした個別相談						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	総合健康相談参加数(延)	人	3792	3800	2407	63.3	3800	4000	
	病態別健康相談参加数(延)	人	304	310	311	100.3	320	350	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	総合健康相談実施回数	回	763	780	853	109.4	850
	病態別健康相談実施回数	回	46	42	42	100.0	42

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	312 千円	365 千円	17.0	290 千円
財源内訳	人件費	7,383 千円	7,276 千円	1.4	7,276 千円	
	退職手当引当金相当額	1,070 千円	1,070 千円	0.0	1,070 千円	
	事業コスト計	8,765 千円	8,711 千円	0.6	8,636 千円	
	国県支出金	207 千円	170 千円	17.9	170 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	8,558 千円	8,541 千円	0.2	8,466 千円	
当該事務従事職員数		1.07 人	1.07 人	0.0	1.07 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	健康に関する多くの情報の中から、個人に適した情報の選択をするための相談が必要である。
有効性	4	身近に健康の相談ができる場があることは、市民のメタボリックシンドロームをはじめとした病気や、介護予防、健康増進に寄与していると考え
達成度	4	市民が参加しやすい身近な相談場所として、保健センター、地区公民館、自治会公民館で開催し、成果は上がっている。
効率性	4	地区に根付いている事業との同日実施により、参加者の増をはかっている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地区の事業に合わせた開催や、健康診査後の事後指導の場として実施し、行動変容が伴う効果的な援助方法を検討し、実践する。

事業 091	事務事業名	健康診査				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		健康増進法第19条2							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	40歳以上の生活保護受給者等と35歳から39歳の方で健康診査を受ける機会のない方の一般健康診査・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診・歯周疾患検診						
	意図(どのような状態に)	生活習慣病の早期発見に努め、生活習慣の改善に結びつけ、「自分の健康は自分で守る」という意識を高めている。						
事業内容	手段(どのような方法で)	医療機関委託：一般健康診査・肝炎ウイルス検診・歯周疾患検診 集団検診：骨粗しょう症検診						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	一般健康診査(生保検診)受診率	%	17	21.5	20.4	94.9	26.3	30	
	肝炎ウイルス検診受診率(40歳節目)	%	23.9	24.2	22.5	93.0	25	25	
	歯周疾患検診受診率	%	10.7	11.6	12.2	105.2	12.5	15	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	一般健康診査(生保検診)受診数	人	14	20	19	95.0	25
	肝炎ウイルス検診受診数(40歳節目)	人	128	130	121	93.1	150
	歯周疾患検診受診数	人	556	600	625	104.2	650

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費		15,160 千円	15,225 千円	0.4
財源内訳		人件費	897 千円	884 千円	1.4	884 千円
		退職手当引当金相当額	130 千円	130 千円	0.0	130 千円
		事業コスト計	16,187 千円	16,239 千円	0.3	15,714 千円
		国県支出金	4,365 千円	4,680 千円	7.2	5,064 千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	11,822 千円	11,559 千円	2.2	10,650 千円
	当該事務従事職員数		0.13 人	0.13 人	0.0	0.13 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	国の指針に基づき実施
有効性	4	市民が自分の健康状態を把握し、問題があれば早期に対応することができるようになる。
達成度	3	生活習慣病の危険因子を発見し、生活習慣の見直しや介護予防の視点から生活機能低下の予防に関する事業を実施することより、市民全体の健康づくりに繋がる。
効率性	4	各種健康診査の実施体制や精度管理について検討し受診率向上を目指している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	今後とも生活習慣病の予防が大切であり、実施方法等を検討しながら事業を継続していく

事業	事務事業名	訪問指導 (成人・老人保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
092							課名	健康推進課	
							電話	82 - 1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		健康増進法第17条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民で過程において健康管理や日常生活の助言の必要が認められた者						
	意図 (どのような状態に)	健康診査結果より望ましい生活が送れるよう助言したり、必要に応じて医療機関への受診勧奨を行い治療に結びつけることで、市民がより一層健康の保持増進を目指せるよう支援していく。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	保健師、栄養士による生活習慣病予防の訪問指導						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	要指導者訪問指導延人数	人	37	40	47	117.5	70	70	
	高齢者訪問指導延人数	人	15	30	3	10.0	30	30	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	要指導者訪問指導実人数	人	27	30	25	83.3	50
	高齢者訪問指導実人数	人	15	20	3	15.0	30

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	227 千円	228 千円	0.4	164 千円
	人件費	690 千円	680 千円	1.4	680 千円	
	退職手当引当金相当額	100 千円	100 千円	0.0	100 千円	
	事業コスト計	1,017 千円	1,008 千円	0.9	944 千円	
財源内訳	国県支出金	34 千円	34 千円	0.0	34 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	983 千円	974 千円	0.9	910 千円	
	当該事務従事職員数	0.10 人	0.10 人	0.0	0.10 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	対象者の日常生活の改善により疾病の重症化防止には繋がる。
有効性	4	健康の保持増進のための適切な生活習慣を理解し、実行することで疾病の予防や重症化を防ぐことができる。
達成度	2	健康に対する意識があっても適切に実行できない状況にある。
効率性	4	健診の結果、ハイリスク者に実施し効率化を図っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	身体面だけでなく精神面の支援が必要なものが増加傾向にあり一層強化していく。

事業	予防接種事業				担当部署	部名	福祉保健部		
094	事務事業名					課名	健康推進課		
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	予防費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		予防接種法第3条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	本市に在住する政令で定める者						
	意図 (どのような状態に)	本市に在住する政令で定める者で接種希望者全員						
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団接種(BCG・ポリオ)保健センター等で実施 個別接種(DPT・MR・日本脳炎・インフルエンザ)射水市医師会指定医療機関に委託 予防接種歴の磁気保存、管理 健康被害が生じたときには、救済措置のための事務						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	68.1	68	61.8	90.9	68	80	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	予防接種健康被害報告数	件	0	0	0	100.0	0

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費		111,261 千円	13,086 千円	88.2
	人件費		3,450 千円	3,400 千円	1.4	3,400 千円
	退職手当引当金相当額		500 千円	500 千円	0.0	500 千円
	事業コスト計		115,211 千円	16,986 千円	85.3	98,810 千円
財源内訳	国県支出金		千円	1,659 千円	皆増	千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		115,211 千円	15,327 千円	86.7	98,810 千円
	当該事務従事職員数		0.50 人	0.50 人	0.0	0.50 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳幼児における感染症の発生を防ぎ、又、蔓延防止のために必要である。
有効性	4	定期予防接種の実施により患者発生及び蔓延事情は減少しており、公衆衛生の向上及び増進に寄与している。
達成度	4	接種率は向上している。
効率性	4	未接種への接種勧奨及び被接種の利便性の方向性の向上に努めている。22年6月からは個別接種の広域化を開始する。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	予防接種法に基づく事業であり、継続的に実施及び予防接種率の向上を一層図る必要がある。

事業 095	事務事業名	結核予防事業				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	予防費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度		
根拠法令・要綱等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第53条の2第2項							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	65歳以上の市民のうち、職場等で結核検診を受ける機会のない者							
	意図 (どのような状態に)	結核の早期発見、精密検査の受診や早期治療を促し、結核の蔓延を予防する。結核の予防啓発							
事業内容	手段 (どのような方法で)	胸部エックス線検査(結核肺検診として実施): 集団検診・医療機関検診(市内指定医療機関)							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	結核検診受診率	%	41.6	41.3	39.9	96.6	42	50	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	集団検診実施会場	回	85	82	82	100.0	81
	医療機関検診指定医療機関	箇所	27	27	27	100.0	27

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	2,369 千円	2,361 千円	0.3	2,165 千円
	人件費	2,553 千円	2,516 千円	1.4	2,516 千円	
	退職手当引当金相当額	370 千円	370 千円	0.0	370 千円	
	事業コスト計	5,292 千円	5,247 千円	0.9	5,051 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	5,292 千円	5,247 千円	0.9	5,051 千円	
当該事務従事職員数		0.37 人	0.37 人	0.0	0.37 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	国の実施要領に基づき実施
有効性	4	市民の健康意識の向上を図るとともに、健康管理を目的として、事業実施は有効である。
達成度	4	受診率については、横ばい状況である。
効率性	4	医療機関での実施や実施期間の延長により、受診率の向上を目指している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	受診率の維持向上に努め、結核を早期発見することにより感染を予防する。

事業 096	事務事業名	感染症予防事業				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第 2 節 明るく元気な健康づくりの推進						目	予防費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度		
根拠法令・要綱等		感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民
	意図 (どのような状態に)	感染症の蔓延を防止する
事業内容	手段 (どのような方法で)	感染症に関わる啓発、施設内感染防止のための啓発、防疫活動、関係機関連携体制の強化

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	感染症発生届数	人	0	0	0	100.0	0	0	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	感染症発生届数	人	0	0	0	100.0	0

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	0 千円	3,993 千円	皆増	2,015 千円
財源内訳		人件費	千円	2,244 千円	皆増	千円
		退職手当引当金相当額	千円	330 千円	皆増	千円
		事業コスト計	千円	6,567 千円	皆増	2,015 千円
		国県支出金	千円	998 千円	皆増	千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	千円	5,569 千円	皆増	2,015 千円
	当該事務従事職員数	0.00 人	0.33 人	皆増	人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	海外旅行の増加など感染源、感染経路の多様化など、今後感染症の発生、特に集団発生より単発に発生する事例が多くなると言われている。単発例に対しても、蔓延しないよう予防が必要と思われる。
有効性	4	感染症の発生を予防し、その蔓延の防止を図り、公衆衛生の向上に貢献している。
達成度	4	感染症の予防及び医療機関との連携が図れた。
効率性	4	感染症の蔓延防止に寄与できた。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	市民、学校及び福祉施設などに対する感染症の正しい知識の啓発による発生予防及び蔓延防止並びに医療機関との連携による発生時対応等健康被害を最小限に止めることは極めて重要である。